

## 令和6年度第1回奈良県公立大学法人奈良県立医科大学評価委員会議事概要

**開催日時** 令和6年6月4日(火) 13:00～14:30

**開催場所** 奈良県経済倶楽部経済会館 4階 小会議室

### 出席者

(委員) 垣内委員長、竹田委員、任委員、町田委員、松村委員

(法人) 上野法人企画部次長、吉田財務企画課長補佐 その他医科大学職員

(事務局) 篠田医療政策局次長、長尾病院マネジメント課長、中川課長補佐

その他病院マネジメント課職員

### 議 題

第4期中期目標骨子及び項目(案)について

### 公開・非公開の別

公開(傍聴者0人、報道関係者0人)

### 議事内容

#### (1) 第4期中期目標骨子及び項目(案)について

[事務局]

「資料1・2」及び「参考資料1・2」に基づき、第4期中期目標骨子及び項目(案)について説明

[松村委員]

- ・「地域の安心と社会の発展への貢献」の柱立ての中に、大項目「教育・研究・診療」をまとめられたのは非常にわかりやすく簡潔になったと思う。
- ・教育 中項目1「地域に貢献する医療人の県内定着」が教育項目の一番上にあることが、第三者視点で見ると違和感がある。大学における教育として、まずは「教育の質の向上」や「学生への支援」のほうが上位の項目にあるべきではないか。
- ・研究 中項目5「研究成果の還元」について、一般に普遍性のある研究が良い研究とされ、その成果は世界に還元されるべきものである。中項目4と5で同じ「研究」との言葉を使われているが、中項目4の「研究」は普遍性のある学術的研究を指し、中項目5の「研究」は第3期の地域貢献の研究項目として記載されていた研究を指しているのではないか。第3期の地域貢献の研究項目では優れた研究成果が報告されており、第4期でも継続していただきたいので、中項目5を地域貢献の中の研究のことと分かるように

表現を修正した方が良いのではないかと。(地域貢献のための研究の推進など)

- ・研究 中項目4 【参考】計画または進捗管理(案)「☆臨床研究の実施件数」は、第3期中期目標の指標にあった「臨床研究中核病院の承認を得る」の置き換えにはならない。「臨床研究中核病院の承認を得る」ことの本質は、臨床研究体制を整えることである。臨床研究の実施件数だけでは臨床研修体制の評価としては不十分。臨床研究中核病院の承認要件などの評価項目を参考に指標を整理してはどうか。(主導した特定臨床研究の数など)

[事務局]

臨床研究体制については、第3期中期目標期間で臨床研究センターの設置によりある程度達成されたと考えている。第4期中期目標期間では、臨床研究を地道に積み重ねていくことが大切だと考えるため、「☆臨床研究の実施件数」のような指標を【参考】計画または進捗管理(案)として掲載している。

[法人]

指標の内容については、中期計画の中で第3期中期目標での課題を踏まえながら作成していく予定。第4期では「臨床研究中核病院の承認を得る」ための土台を固めていくための指標が必要であると考えている。

[松村委員]

- ・安定した法人運営 中項目11は業務運営に関する事項であり、自己点検し評価した結果を公表することを示した項目と理解した。しかし、情報発信と表現されていることで、広報的な情報発信の意味にすり替わっており、【参考】計画または進捗管理(案)で、報道発表件数やメディア掲載件数が上がっている。情報公開と広報的な情報発信は目的が異なる。この項目は、情報発信を情報公開に変え、別の項目(或いは中項目12の中に含めるのも良い)として、「教育・研究・診療に係る取組や成果の発信」を加える等整理するのが良いのではないかと。
- ・安定した法人運営 中項目12【参考】計画または進捗管理(案)の指標の「☆訓練実施回数」が災害訓練のことを指すならば、そのように書いた方が明確であると思う。ただし、災害に備えた体制整備は、BCPマニュアルの整備、マニュアルを周知するための訓練の実施と、災害訓練の回数よりも、災害訓練の内容が重要である。同様に、情報セキュリティ対策は、組織体制の整備から始まり、情報システムの適切な管理、利用者への教育等があり、これらの実施の有無で評価されるべきものである。定量評価は難しい。

- ・安定した法人運営 中項目12「優秀な人材の確保と育成」の「人材」を医療人材も含むと解釈すると、極めて重要な事項であり、最後の項目であることに違和感がある。ここで言う「人材」が、法人運営に関わる管理・経営人材を指すのであれば、そのことが分かるように表現を見直すべきではないか。

[事務局]

それぞれのご意見について、検討させていただく。

[任委員]

- ・基本的に各中項目の成果指標欄に数値指標を入れていただいているが、中項目11の定性的な成果指標については、これに代わる数値指標があれば置き換えていただきたい。
- ・成果指標のない中項目があるが、評価の際支障はないか。

[垣内委員長]

現時点では中項目11の成果指標に数値指標を置くことが困難であった。今後作成される中期計画の内容をもって判断せざるを得ないと思う。評価の際支障がないかについても、中期計画作成後に再検討させていただく。

[松村委員]

診療 中項目6の本文で新興感染症医療体制について、中項目7で医療安全体制の確立について触れられているが、感染制御（抗生剤の適正使用や院内感染対策）についての目標がない。感染制御は、病院では医療安全と並列する重要な管理事項であるので、感染制御に係る目標を含めることをご検討いただきたい。

[事務局]

検討させていただく。

[松村委員]

診療 中項目6の成果指標「救急隊から附属病院への受入照会に対する受入率の向上」について、コロナ禍の状況のように分母の数が著しく増える場合では、受入数が増えていても、受入率は低下する。病院の努力目標は、受入数を増加させることになるので、「受入率の向上」ではなく、「受入数の向上」に変更すべきではないか。

[事務局]

検討させていただく。

[垣内委員長]

以上の意見を踏まえ、県と医大で再検討・修正し、改めて共有する。

(2) 令和5年度以降の業務の進捗管理方法について

[事務局]

「資料3」に基づき、令和5年度以降の業務の進捗管理方法について説明

意見なし

(3) 第3期中期目標の期間の終了時の検討の結果及び講ずる措置の内容について

[事務局]

「資料4」に基づき、第3期中期目標の期間の終了時の検討の結果及び講ずる措置の内容について説明

意見なし

(4) 役員報酬等の支給基準の変更について

[法人]

「資料5」に基づき、役員報酬等の支給基準の変更について説明

意見なし